

# 法人名 (公財) 山梨県健康管理事業団

公益法人用

## 【法人の概要】

代表者名	理事長 今井立史		所管部(局)課	福祉保健部 健康増進課		
所在地	甲府市宝一丁目4-16		電話番号	055-225-2800		
ホームページURL	<a href="http://www.y-kenkou.or.jp">http://www.y-kenkou.or.jp</a>		E-mailアドレス	<a href="mailto:soumu@y-kenkou.or.jp">soumu@y-kenkou.or.jp</a>		
資本金(基本財産)	4,536	千円	設立年月日	昭和58年4月1日		
主出資者等	出資順位	出資者名等		出資額		出資比率
	1	山梨県		100	千円	2.2 %
	2	山梨中央銀行		50	千円	1.1 %
	3	甲府ロータリークラブ		10	千円	0.2 %
	4	市川ロータリークラブ		10	千円	0.2 %
	5				千円	0.0 %
	6				千円	0.0 %
	7				千円	0.0 %
	8				千円	0.0 %
	9				千円	0.0 %
	10				千円	0.0 %
	出資その他	団体(者)		4,366	千円	96.3 %
その他				千円	0.0 %	
			4,536	千円	100.0 %	
設立の目的経緯概況等	県民に対する、疾病の予防・健康の増進を図るため、公衆衛生に関する普及啓発、健康保持増進のための調査・研究、健診事業等を行い、公益的社会的役割を担うとともに、県民の公衆衛生の向上に寄与することを目的としています。					

## 【主要事業の概要】

主な事業名	内容	事業費(単位:千円)		
		H25年度	H26年度	H27年度
事業1 各種検診・検査事業	一般住民検診(地域保健)・胃がん検診等各種検診事業、生徒等の検診・検査(学校保健)、事業所検診(職域保健)を受託し実施	392,604	418,220	413,243
事業2 高齢者医療確保法に基づく各種検診事業	高齢者医療確保法に基づく特定健診・甲府市個別健診・特定保健指導を実施	68,768	77,091	73,778
事業3 救急医療情報センター運營業務	県から業務委託を受けて、県民からの医療機関及び当番医の照会に対して情報提供等を行う業務を実施	31,961	31,124	31,265

## 【組織】

4月1日現在の人員	年度	平成26年度					平成27年度					平成28年度						
		職プロパー	県職員派遣	県職員兼務	県OB	その他	職プロパー	県職員派遣	県職員兼務	県OB	その他	職プロパー	県職員派遣	県職員兼務	県OB	その他		
役員等	理事(常勤)	1			1	4	2			1	1	2			1	1		
	理事(非常勤)	6		1	1	4	7		1	2	4	7		1	2	4		
	監事(常勤)	0					0					0						
	監事(非常勤)	2				2	2			2	2	2				2		
	評議員	10		2		8	10		2		8	10		2		8		
計	19	0	0	3	2	14	21	0	0	3	3	15	21	0	0	3	3	15
職員	管理職	4	4				4	4				4	4					
	一般職員	22	22				23	23				22	22					
	臨時職員	24			1	23	25			1	24	27			1	26		
	非常勤職員	1			1		0					0						
計	51	26	0	0	2	23	52	27	0	0	1	24	53	26	0	0	1	26
プロパー職員の年齢構成(H29.4.1現在)	年齢	~20	21~30	31~40	41~50	51~60	61歳以上	合計					平均年齢		平均年収			
	男性		1	2	4	5		12	役員常勤	※	(千円)		※	(千円)				
	女性		3	2	2	7		14	職員常勤	50	(千円)		4,445					
	合計	0	4	4	6	12	0	26										

※常勤役員のうち1名は医師報酬があり、もう1名との金額に差があり、個人情報保護の観点から非公開

【経営の状況】

(単位:千円)

項 目		25年度	26年度	27年度	増減(27-26)
正味財産の状況	基本財産等運用益			1	1
	受取会費・受取寄付金				0
	受託事業収益	544,588	591,902	587,420	△ 4,482
	自主事業収益				0
	受取補助金等	6,155	6,264	6,294	30
	その他の収益	12,377	29,912	21,089	△ 8,823
	経常収入 計	563,120	628,078	614,804	△ 13,274
	事業費	189,486	576,427	592,082	15,655
	うち人件費	80,256	310,629	330,933	20,304
	管理費	373,397	40,813	4,949	△ 35,864
	うち人件費	244,941	27,107	4,525	△ 22,582
	経常支出 計	562,883	617,240	597,031	△ 20,209
	当期経常増減額	237	10,838	17,773	6,935
	経常外収入				0
	経常外支出			2,317	2,317
	当期経常外増減額	0	0	△ 2,317	△ 2,317
当期一般正味財産増減額	237	10,838	15,456	4,618	
当期指定正味財産増減額	53,195	△ 21,278	△ 12,766	8,512	
正味財産期末残高	876,674	866,234	868,924	2,690	

(単位:千円)

項 目		25年度	26年度	27年度	増減(27-26)
財務状況	流動資産	206,845	202,844	159,911	△ 42,933
	固定資産	827,969	824,437	864,939	40,502
	資産 計	1,034,814	1,027,281	1,024,850	△ 2,431
	流動負債	42,549	39,444	25,362	△ 14,082
	うち短期借入金				0
	固定負債	115,591	121,603	130,564	8,961
	うち長期借入金				0
	負債 計	158,140	161,047	155,926	△ 5,121
	正味財産	876,674	866,234	868,924	2,690
	うち基本財産への充当額	4,536	4,536	4,536	0
うち特定資産への充当額	535,454	559,228	605,423	46,195	

(単位:千円)

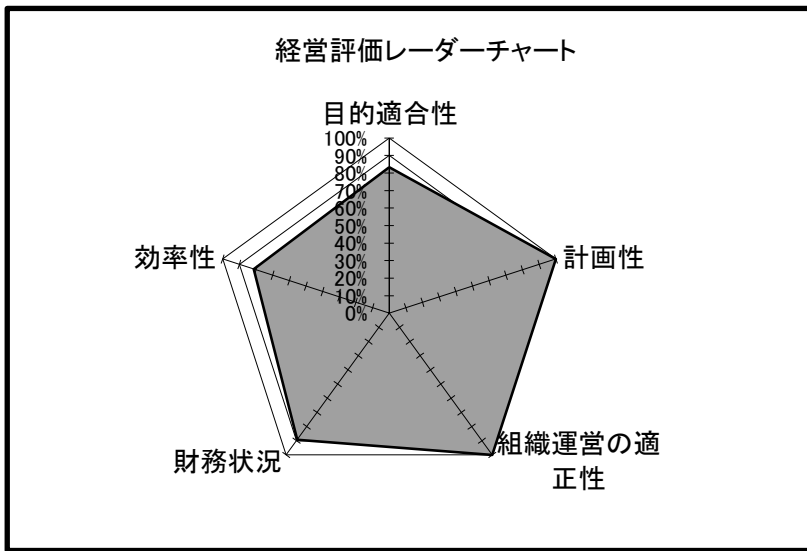
項 目		25年度	26年度	27年度	増減(27-26)
県の財政的関与の状況	負担金				0
	人件費補助金	5,105	5,214	5,244	30
	人件費以外の補助金				0
	運営費補助金	5,105	5,214	5,244	30
	事業費補助金				0
	補助金 計	5,105	5,214	5,244	30
	人件費委託金				0
	人件費以外の委託金	33,841	33,224	33,261	37
	委託金 計	33,841	33,224	33,261	37
	県支出金 計	38,946	38,438	38,505	67
県の財政的関与の割合(%)	6.9	6.1	6.3	0	
県貸付金残高				0	
県債務負担実際残高				0	

【県の財政的関与の内容・目的・金額】

項目	内容・目的・金額
負担金	
補助金 (運営費)	事業団の経営を行うため、県OBの専務理事(事務局長兼務)の人件費補助金(5,244千円)
補助金 (事業費)	
委託金	救急医療に必要な医療機関の応急情報などを、コンピューターを利用して迅速かつ的確に収集し、県民の皆様に24時間体制で情報提供する「救急医療情報システム」の運営委託経費(31,565千円)、医師・保健師・ピアサポーターによるがん相談事業「がん患者サポートセンター」委託料(1,696千円)
債務負担行為	

【自己評価・評点集計】:(経営評価算出表により、法人自らが評価した結果を記入)

評価の視点	評価ポイント	評価項目数	満点	評点	得点率
目的適合性	出資法人が当初の設立目的あるいは公益目的と適合した業務を行っているかを問う視点	3	12	10	83.3%
計画性	出資法人が長期的ビジョンを持って計画的に事業運営に取り組んでいるかを問う視点	3	12	12	100.0%
組織運営の適正性	組織・人事・財務等の内部管理体制が適切に整備、運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切であるかを問う視点	3	12	12	100.0%
財務状況	出資法人の経営の安全性や収益性を問う視点	7	56	50	89.3%
効率性	出資法人の組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているかを問う視点	5	16	13	81.3%
合計		21	108	97	89.8%



【警戒指標】

--

【出資法人の自己評価】:(各評価の視点毎に、法人自らによる分析・検証の結果及び対応策を記入)

目的適合性	各種検診事業は競合機関との競争もあり、設立当初とは事業団を取り巻く環境は大きく変化している。今後も県民の公衆衛生の向上に寄与するべく、方策を検討し、実行していく。
計画性	平成27年度には胃部検診車1台をデジタル検診車に更新し、これで事業団全てのX線検診車のデジタル化が完了し、より高精度な検診が可能となった。28年度も超音波診断装置を3式を更新する。今後は新施設整備に向けた計画を進め、経営の安定に繋げていく。
組織運営の適正性	より高精度な検診を実施していくため、今後も優秀な医療従事者の確保や育成が必要となる。また、毎年定年退職者も出てくるため、計画的に人材の採用を行っていく。
財務状況	月々の検診数や実施主体ごとの実施数を把握、分析するなかで、人件費や物件費など効率性を重視しながら経営に活かしていく。
効率性	検診事業は繁忙期と閑散期との差がはっきりしているため、いかに集中する時期を平準化できるかが課題となっている。今後も効率性を高める努力をしていきたい。
総合的評価	近年、高精度の検診を目指し機器の整備を行ってきた。今後は高精度の検診施設の整備やソフト面における取り組み強化を行っていく。また、営業を強化し、今後さらに収入の確保につとめ、経営の安定を図っていく。



対応策	今後は、地域と連携し、公益目的に沿った検診事業の実施や顧客満足度を高めるため、高精度の検診施設の整備を目指し、役職員一丸となって積極的に取り組んでいく。また、職員の資質向上のため研修等を行い、専門的な知識の習得に努めていく。
-----	--

【法人担当部局の所見】:(法人所管部局による各評価の視点毎の分析、評価)

目的適合性	各種検診・検査事業等を実施することによって、地域の保健衛生の向上に寄与することを目的とした事業活動は、都市部から離れた中山間地等、移動に時間を要し、受診者数がさほど見込めない非効率で不採算な地域においてその必要性は大きいと考えられる。 今後は、乳がん検診の受診者増など、設定した目標が継続的に達成されるよう努める必要がある。
計画性	市町村健診閑散期における職域健診確保のための営業活動などを実施している。超音波検診車、マンモグラフィデジタル検診車の導入に引き続き、H26年度には乳がん検診車及び胸部検診車、H27年度には胃部検診車のデジタル化を図り、全てのX線検診車のデジタル化を行っている。H28年度についても超音波診断装置を更新予定であり、より検査精度の向上に努めるなど経営計画に基づいた改革の着実な実行が行われている。
組織運営の適正性	高精度の検診を行い、顧客の獲得を行っていくために、新たに整備された検診機器に対応できる人材の確保は重要である。経営最適化の観点から人員確保に努めているが、計画的な職員の採用など、引き続き取り組んでいく必要がある。
財務状況	外部の経営専門家(税理士等)による経営評価委員会を実施し、経営状況等の把握・事業の見直しに活かしている。厳しい経済情勢においても社会的必要から対応せざるをえない業務もあるが、今後も収支状況の把握に努め、適正な状況が維持できるよう取り組んでいく必要がある。
効率性	健診事業の繁忙期と閑散期の平準化に努め、年間を通じて効率的に健診業務を行うことを目指している。特定健診事業については、保険者(市町村等)と協力し、地域組織等を通じて受診率の向上に努めている。非効率、不採算になりがちであるが、できる限り事業の効率化を図る必要がある。
総合的評価	職域健診を積極的に取り込むことで顧客拡大を図り、顧客満足度も考慮しつつ安定経営を目指している。法人の社会的存在意義を踏まえて、一部不採算でありながら、社会的要請の強い部門への的確な対応を行っていることも評価できる。他の健診機関との差別を図り、良好な事業実施体制の確立が引き続き必要である。

【総合評価】:(経営評価委員会、経営検討委員会による総合評価)

総合的所見	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p><b>A</b></p> <p>得点率 80%以上 かつ 警戒指標なし</p> </div> <div style="border: 2px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p><b>B</b></p> <p>得点率 70%~80% または 警戒指標が1</p> </div> <div style="border: 2px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p><b>C</b></p> <p>得点率 60%~70% または 警戒指標が2</p> </div> <div style="border: 2px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p><b>D</b></p> <p>得点率 60%未満 または 警戒指標が3以上</p> </div> </div>
※ ランク下の%は得点率の範囲	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営計画に基づき、給与体系の見直しや検診車・検査装置の購入やデジタル化など、経営改善や住民ニーズに対応した検診の実施に取り組んでいる。</li> <li>平成27年度は、新規の検診事業所を増加させたことなどで職域検診の受診者数が目標を達成し、目的適合性の評価が改善している。全体では、検診日数が減ったことにより受診者数が減少しているが、これに伴い人件費等費用も減少したため、健全な経営は維持されており、効率性の評価も改善している。</li> <li>引き続き、経営計画の着実な実現に向け、積極的な営業活動による健診の新規開拓や受診率・受診者数の増加を図り、収益の確保による安定した法人経営を維持しながら、人材の確保や育成による組織・職員体制の強化にも努める必要がある。</li> </ul>



【総合所見等に対する今後の対応方針】

<p>今後も健診事業の年間を通しての平準化に努め、合理化・効率化に取り組むとともに、閑散期には集中的に営業活動を行うなど新規事業所の開拓において年度目標を着実に達成し、また受診率向上・受診者数の増加に努め、安定した経営を目指していく。更に、実施主体や受診者の方々の要望にあった健診を実施するため、高精度な機器の整備を行っていくとともに、人間ドックが実施できる施設整備の検討を進めていく。また、今後も適切な人材確保を進めながら、職員は研修や知識の習得に日々努め、一丸となり取り組んでいく。</p>
---